

2

エコでスマートな物流サービスの提供

ICTを活用した 全国初の戸建て住宅街 一括配送を開始



官民一体となって、
100年続く街づくりを
進めます。

パナソニック株式会社
CRE 事業推進部
部長 宮原 智彦 様

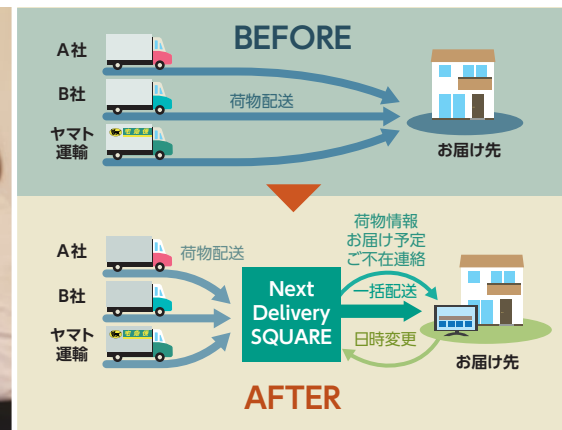
当社はFujisawa SSTを運営する協議会の代表幹事ですが、ヤマト運輸から提案を受けた際、この街の目指すところを深く理解してくださっていると感じました。今後もヤマトグループの機能を活かして、新たなサービスを一緒につくっていければと思っています。



街づくりにもどのように
貢献できるか、
常に考えています。

ヤマト運輸株式会社
藤沢辻堂支店
支店長 小泉 純也

戸建て住宅街での一括配送は日本で初めての試みでした。ご利用のお客さまからは、受け取りの手間が省ける、荷物の届くタイミングがわかるので嬉しい、といった声をいただいています。他企業とも協力し、新しいアイデアで街の活性化に貢献できればと思っています。



社会課題

現在の日本は、地方では過疎化などの課題がある一方、都市では人口集中によるエネルギー使用量の増大などの課題を抱えています。

エコでスマートな物流サービスで、 街での暮らしをトータルサポート。

神奈川県藤沢市と民間企業が連携して立ち上げた「Fujisawa サスティナブル・スマートタウン(以下、Fujisawa SST)」では、暮らし起点で実稼働するスマートタウンとして、街に関わる人々と持続可能なスマートライフを育み、新たなサービス・技術を取り入れ、100年先も続く街づくりが進められ

ています。

ヤマト運輸は、2016年11月、Fujisawa SST内に街全体の総合的な物流インフラとなる「Next Delivery SQUARE(以下、ネクストデリバリースクエア)」を開業。他の宅配会社の荷物を集約し、ヤマト運輸がまとめてお届けする一括配送を全国で初めて戸建て住宅街で開始しました。

Topics

2016年10月25日、Fujisawa SSTでの一括配送事業が、全国初の改正物流総合効率化法の対象として国土交通省より認定されました。

物流のオンデマンド化とコミュニティ活動の推進でくらしの快適さを向上。

2017年3月から、ICTを活用し各住宅に設置されたスマートテレビを使って当日のお届け予定情報やご不在連絡を配信するサービスを開始し、居住者ごとの配送ニーズに応える環境づくりを行っています。テレビ画面からまとめてお届け日時の変更や受取場所の指定ができるため、個々の宅配業者に連絡する必要がなく、荷物を別々に受け取る手間も省けます。地域を走る集配車が減るため、環境負荷も減らせます。この他にも、ネクストデリバリースクエアは

エネルギーを生み出すスマートな施設として太陽光発電やLED照明の導入、建築資材の低炭素化など、従来のヤマト運輸の集配拠点に比べて約30%のCO₂を削減することができます。

また、「こども交通安全教室」や「職業体験」も実施するなど、Fujisawa SSTの一員として、住民と連携しながら街づくりに取り組んでいます。

これからも、ヤマトグループは、持続可能なコミュニティの実現に向けて、グループ各社が持つ機能を活かした提案を続けていきます。